

# 山形国道維持出張所 出張所情報

・ 2008. 5-2 国道48号の距離標が変わりました

ドライバーの皆さんが国道等を通行する時に歩道や中央分離帯を注意してみると、道路に数字が記入された下記写真の様な標識板等が目にはいると思います。



k m 標（都市部景観型）



k m 標（地方部景観型）



k m 標（中央分離帯型）



百米標（一般部従来型）



百米標（一般部景観型）



百米標（中央分離帯型）

それは、起点となる地点から1 km毎に設置してあるk m（キロメートル）標と100 m毎に設置してある百米標というもので、その道路の起点からの距離を標示しています。

景観型のタイプには道路のルートナンバーが標示してあり、さらにk m標には地点名も標記し、わかりやすい標示としています。

しかし、道路もバイパスができるなどで年々変化しており、起点からの距離も変化します。

国道48の起点は仙台市青葉区本町の宮城県庁近くにある国道45号の分岐点で変わりませんが、途中の国道48号は愛子バイパスができたりして距離が変化しており、距離標示が仙台側と山形県側で違いを生じていました。

この距離標の標示を平成19年度の工事により仙台側に合わせ変更し景観型に統一するとともに峠部の積雪対策として距離標及び百米標の支柱を高くし、積雪があっても標示が見やすいものとなりました。

ドライバーの皆さんも国道48号を通行する際は、現在の通行位置の確認等に新しい距離標をご覧ください。